



週報



所沢西ロータリークラブ

RI 第2570地区第3グループ

会長 鈴木真澄 ■ 会長エレクト 内田 学
幹事 堀江 大
クラブ管理運営委員長 高橋和男

例会場 〒359-1127 所沢市星の宮1-3-5 ベルヴィザ グラン TEL 04-2923-4122
事務局 〒359-1143 所沢市宮本町2-22-25 角田ビル3F TEL 04-2926-1666
例会日 毎週火曜日 (PM12:30~13:30) FAX 04-2926-5151
E-mail nishirc@deam.ocn.ne.jp <http://www.tokorozawa-nishirc.net/>

四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

1. 点鐘…会長 2. 斉唱…ロータリーソング 3. 来賓紹介 4. 会長、幹事報告 5. 委員会報告

第1370例会 2014・10・28

卓 話	例会当番	記念祝福
10/28 米山奨学部門委員長 忽滑谷 明様 (入間 RC) 米山奨学生 アリカ・アリム様	山崎 武邦	
11/4 「加工食品について」 益田 芙三子様	山田 富男	

■出席報告	
月 日	10/14
会員数	36
出席者	30
出席率	83%
前回修正	86%

会長の時間 会長エレクト 内田 学

こんにちは、今回は、ガバナー補佐からのメールで調子に乗り、ストレッチ4回目です。第1回目で行った、肩の体操、立ち上がり、手のひらを上に向け、ゆっくり頭の上で掌を合わせるように、1回2回3回、腕を耳の横止めてください。今度は、掌を下に向け、1回2回3回で止め、腕が、真上に上がりますか？掌を上にして腕を横に開き肘から上に曲げます、5~10秒我慢して指先を肩の上につけ、肘の先で、大きな丸を書き様に回します、前回り10回、後ろ回り10回、最後に掌を下に向け頭の上を手をつけてみてください。少しは、楽に着くようになりましたか？日常生活では、あまり使われない筋肉を動かすことにより骨ではなく、筋肉が、柔らかくなれば、体が、動くようになるそうです。御自宅でも、無理をせず、お試してください。お疲れさまでした。

- ◆再：地区大会・記念ゴルフ大会のお知らせ
- ◆9月28日(日)開催のRLI研修パートIの終了書を頂きました。(内田 学エレクト)
- ◆RLIセミナー・パートII 事前資料のご送付とご記入のお願い
- ◆例会変更・・・飯能RC、所沢東RC
- ◆週報・・・入間RC、所沢RC、新所沢RC

ロータリー財団に御寄附
頂きました。御協力
有難うございます。



高橋様・和記様・鈴木会長・山崎様

幹事報告 堀江 大

- ◆2015-2016RI 理事指名委員会委員推薦のお願い
- ◆ハイハイよねやま 175号

ガバナー月信 NO3 9月号 P13の米山表彰に鈴木 真澄会長、中村さんが掲載されております。御協力有難うございました。

ニコニコボックス

師岡 友次

鈴木 真澄 カスマイルの松浦社長様、卓話宜しくお願ひ致します。

堀江 大 松浦様、宜しくお願ひします。

内田 学 松浦様、本日は宜しくお願ひ致します。室伏さん、山田さん、大館さん、日曜日有難うございました。

室伏 秀樹 カスマイル松浦社長、卓話宜しくお願ひします。最近ゴルフ崩れっばなし、クラブコンパ 憂鬱だなあー。

小暮 博文 戸隠参拝旅行に行つて参りました。奥社にお詣り、宝光社に御神樂を奉納してきました。白根山は噴火の兆候があるためか、駐停車禁止で、白根の別の峰で白煙が 5,6 本のぼつていました。須澤さん添乗員のお仕事御苦勞様でした。

山崎 武邦・太田 一夫・大館 信夫 前回欠席致しました。

卓話 無肥料自然栽培と健康

～おいしいはしあわせ～

(有) カスマイル代表取締役 松浦 智紀様



●食生活について

戦後に施行された余剰農産物処理法 (7リカ)、農業基本法、学校給食法、栄養改善法等により日本人の食生活は大きく変わりました。昭和 40 年と現在を比べても米の消費量は 40%減少、野菜は 15%減少、牛肉は 4 倍に、牛乳 2 倍、油は 3 倍と変化しています。そして食源病ともいわれる生活習慣病 (成人病) はますます増えています。

●農産物の安全性について

世界でもっとも農薬を使う国は日本です (面積国土で割った割合そして金額ベース)。現在の日本は過剰な施肥と家畜糞尿の不適切な処理による硝酸性窒素の地下水汚染により多くの井戸水が飲めなくなりました。硝酸の農産物残留については EU においては濃度基準がありますが、日本では基準がありません。そして国が安全性を認めた農薬 (や食品添加物も) は安全性の問題から毎年のように使用禁止になるものがあります。健康に影響があるかないかまだ定かになっていない遺伝子組み換え農産物や雄性不稔農産物は知らない間に私たちの食に大きく入り込んできています。

●日本農業について

農業従事者は 65 歳以上が 63%を占めています。年間 10 万人以上が離農している現状で新規就農者が追いついていません。国は大規模化を推し進めています。日本の農地の 50%以上は中山間地という現状で今後国土保全の問題 (災害等) や国産農産物が激減する恐れがあり、ますます海外へ依存せざるを得ない状況になっています。田畑が荒廃し、農業技術の継承がされない中で国際分業や GDP の発展ということだけで国の食糧安全保障が保たれるのか先が見えません。食に関する問題は多くある中、今回は 3 つの項目について記させていただきました。

多くの問題を解決できる手段の一つとして、Low Input Sustainable Agriculture (通称 LISA (リサ)) という考え方があります。エネルギー投入量を減らし持続可能な農業を広げていこうという考え方です。私自身、肥料や農薬を使用しない農産物の流通を行っております。有機農産物や特別栽培農産物のように収穫量が安定しない為世にはほとんど流通されておきませんが、今後一つの解決方法として大きな期待をもって普及活動を行っております。

小説家の故有吉佐和子さんはこのような問題に対して昭和 40 年代後半から警鐘を鳴らしていました。「複合汚染」という著書は現在でも重版になり古さを感じさせない貴重な書です。ぜひご一読いただけたら幸いです。

この度は卓話の機会をいただき、誠にありがとうございました。

今週の担当 高橋 和男